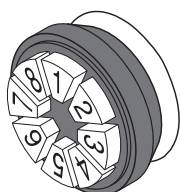
※この説明書は、必ず保管してください。

取付・取扱説明書

郵便受箱/錠前

オートデジタル錠

このたびは、オートデジタル錠〈タジマメイルボックス 専用錠前〉をお買いあげいただきありがとうございました。
ご使用の前にこの説明書をお読みいただき オートデジタル錠の機能をご理解のうえ、末永くご愛用ください。
お読みになったあとは必ず保管してください。

● 安全にお使いいただくために

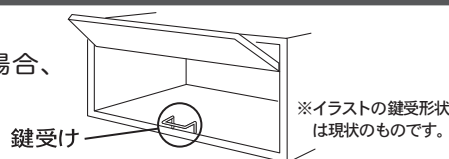
この取扱説明書では、お客さまに特に注意していただきたい
事項には、右記のようなマークと見出しをつけています。
この説明書の中で、これらのマークと見出しがありましたら、
記載内容をお読みのうえ十分注意してください。

取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、または
物的損害の可能性のあることを示しています。

錠前交換の前に郵便受けの鍵受け形状をご確認ください

注意

製品に旧タイプの鍵受けが付いている場合、
本錠前への交換ができません!!

鍵受け

※イラストの鍵受形状
は現状のものです。

◇旧タイプの鍵受け形状一覧

（※1982～1992 製造の旧タイプ）

MX-2	MX-3	MX-5

（上記以外の郵便受けには、旧タイプの鍵受けはありません。）

● 製品に関する修理・取扱方法等のご相談窓口

※お問い合わせの際はご使用の製品名をご確認の上、ご連絡ください。／ 製品名：**オートデジタル錠**

サービスセンター　フリーダイヤル 0120-090-630　受付時間／平日 9：00～12：00　13：00～17：00（土･日･祝祭日は休ませて頂きます）

■郵便受箱/錠前 保証書

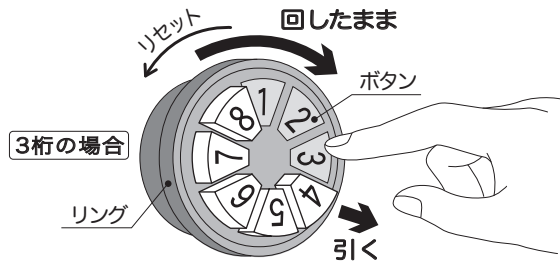
1. 保証期間　納品日から2年間（納品書は大切に保管してください）
2. 保証規定　保証期間内に製造上に起因する故障が本製品に生じた場合、無償で修理致します。

本製品は郵便受箱（タジマメイルボックス）の純正部品です。当社の郵便受箱以外で使用された場合、当社はその責任を負わないものとします。

（1）取り扱い上の不注意や誤ったご使用方法、適切な維持管理をして頂けなかったことによる故障、及び損傷。
（2）取付説明書に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。
（3）建築躯体の変形など本製品以外の不具合に起因する故障、及び損傷。
（4）塗装の色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。
（5）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。（6）ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
（7）火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・水害その他天災地変または戦争・暴動などの破壊行為による故障、及び損傷。

●保証規定は日本国内においてのみ有効です。離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受けることがあります。
●本書は必ず保管してください。

田島メタルワーク株式会社

オートデジタル錠 取扱説明書

●解錠番号シールの見方

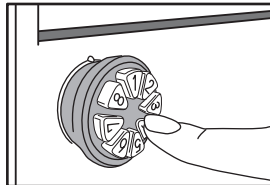
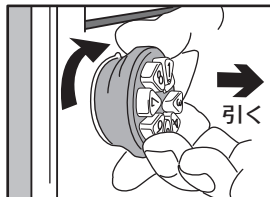
表紙に貼られたシールの親番号と
子番号が解錠番号です。

⚠注意 シリコンオイルなどの潤滑油は使用しないでください。
溶剤を含まないシリコンやカーボン滑走剤[鍵穴用]をご使用ください。

操作の前に ボタンが押されていないことを確認してください。解錠番号以外のボタンが押されている場合や
ボタンを押し間違えた場合は、外側のリングを左方向に回してボタンをリセットしてから操作してください。

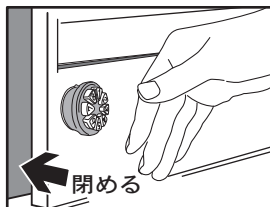
■錠前の操作方法

◯ あける（解錠方法）

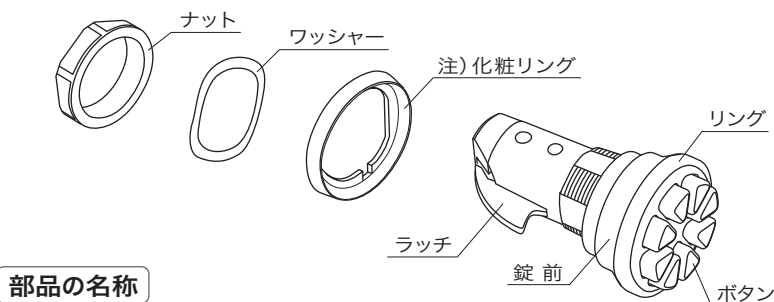
1 指定されたボタン（解錠番号）を押します。

2 外側のリングを右方向に回したまま扉を引くと扉が開きます。

⚠注意 扉が開くまではリングを戻したり、左方向に回さないでください。故障の原因となります。

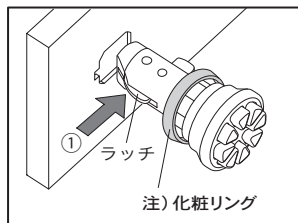
⚠注意 リングから手を離すとボタンは自動的に戻ります。

◯ しめる（施錠方法）

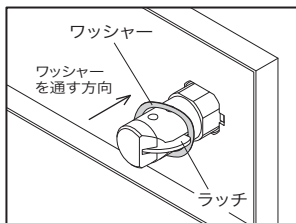
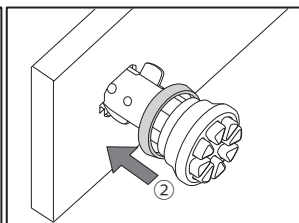
1 扉を閉めると自動的に施錠されます。

⚠注意 ボタンが全て出ていることを確認してください。

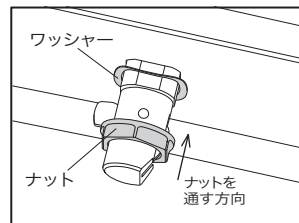
⚠注意 ボタンが押されたままの状態になっている場合はリングを左方向に回してリセット操作をおこなってください。

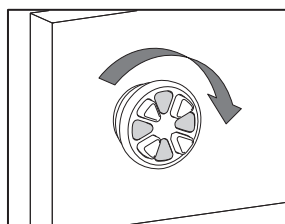
オートデジタル錠　取付説明書

部品の名称

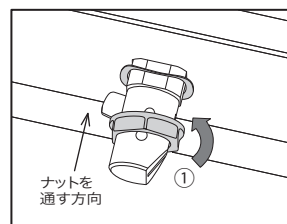
■取付方法

1. 取り付け穴に錠前を差し込みます

①ラッチを錠前に押し込みます　②取り付け穴に錠前を差し込みます

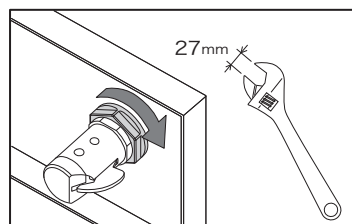
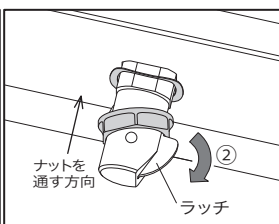
注）化粧リングを取り付ける場合
錠前を差し込む前にくぐらせておきます。なお、お使いの郵便受けに
化粧リングがついていない場合、化粧リングを付ける必要はありません。

2. ワッシャーを通します

ラッチを押してワッシャーを通します

3. ナットを差し込みます

この段階ではラッチに引っ掛かる
ので、途中まで差し込んでおきます

4. 解錠します

解錠ボタンを押してリングを回します
※リングを回したままの状態が
解錠状態です。

5. ラッチを通します

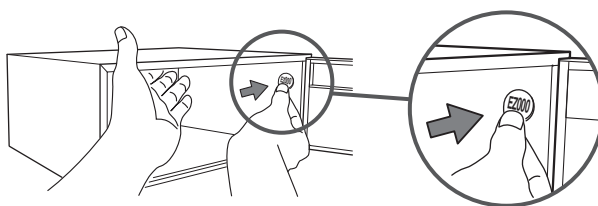
※解錠状態（つまみを回した状態）のままで作業を行います

①ラッチの先端をくぐらせます　②ラッチを後ろに持ち上げてナットを通します

6. レンチ等の工具でナットを締め込み、ナットはネジ方向と水平になるように締め込みます

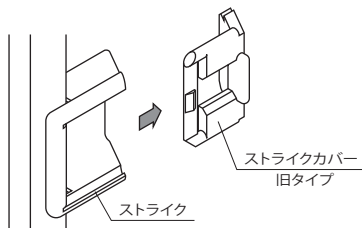
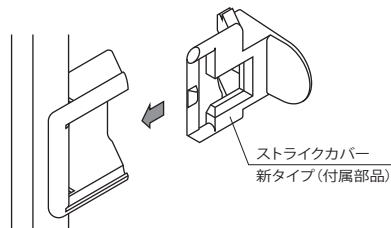
錠前の取り替え注意事項

◇ナンバーシールを貼ってください

同封の丸いナンバーシールは
錠前を管理する番号です。

ナンバーシール

交換前のナンバーシールを剥がした後、本錠前のナンバーシールを必ず所定の位置（本体内部右側面）に貼ってください。

◇ストライクカバーの取り付け

① ストライクにストライクカバーが付いている場合は取り外します。　**※付いていない場合は、②へ**

② 付属のストライクカバーをストライクに取り付けてください。

■各種錠前の取り外し方法

注）2014.4 出荷分よりワッシャーは付属されておりません。
注）機種によっては図の化粧リングを使用していないものがあります。

<table>
<tr><th></th><th>錠　前</th><th>取り外し方</th></tr>
<tr><td>96ダイヤル錠</td><td>ナット
ワッシャー
注）化粧リング
錠 前
ラッチ
解錠板
カバー</td><td>1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。
※カバーがついてる場合は外します。
2. ラッチを①の方向に動かし解錠板を②の方向に押し込んでナットとワッシャーを外します。
3. 解錠板を押し込みながら錠前を③の方向へ引き抜きます。

</td></tr>
<tr><td>フリーダイヤル錠
セットダイヤル錠
myナンバー錠
ラッチロック</td><td>

※カバー（myナンバー錠・セットダイヤル錠のみ）</td><td>1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。
※カバーがついてる場合は外します。
2. ナットとワッシャーを外します。
3. 錠前を扉の表側から引き抜きます。

◇ラッチがおき上がった状態で取り外すことはできません。その場合は、指でラッチを戻してください。動かない場合は、その状態で解錠操作をおこない、それからラッチを押し戻してください。

ラッチがおき上がっている状態

ラッチが戻っている状態</td></tr>
<tr><td>デジタル錠
オートデジタル錠</td><td>

錠 前
ラッチ
リング
ボタン</td><td>

レンチ等の工具を使ってナットをゆるめ、ネジ部分から外します。

解錠ボタンを押してリングを回します
※リングを回したままの状態が解錠状態です。

※解錠状態（リングを回した状態）のままで作業を行います。
ラッチを後ろへ持ち上げて、ナットとワッシャーを引き抜きます。

錠前本体は、扉の表側から引き抜きます。
※解錠状態（リングを回した状態）のままで作業を行います。</td></tr>
<tr><td>シリンダー錠</td><td>
</td><td>1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。
2. ナットとワッシャーを外します。
3. 錠前を扉の表側から引き抜きます。

</td></tr>
</table>

※詳しくは弊社ホームページをご覧ください。　http://www.metalwork.co.jp
ホームページでは動画もご覧いただけます。

田島メタルワーク株式会社

本　　社　〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-41-24 東池袋センタービル／東部営業部 TEL03-5396-7621(代) FAX03-5396-7622
サービス課 TEL03-5396-7615(代) FAX03-5396-7616
横浜営業所 TEL045-470-5388(代) FAX045-473-0207　名古屋営業所 TEL052-955-3807(代) FAX052-955-3887
大阪営業所 TEL06-6305-3300(代) FAX06-6305-3320　福岡営業所 TEL092-504-4475(代) FAX092-504-4482